



東京都立鹿本学園 学校通信 令和7年12月22日号

学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

ことしの一文字は「多」

恒例の漢字一文字は、「熊」でした。知り合いの山形県の校長先生は、熊の出没の対応で、自然災害等はまた違う「緊張感」で日々の対応に追われていると話していました。社会も御家庭もそして学校もそうですが、私達を取り巻く環境は、目まぐるしく変化します。それに対して、【これまでどおり】【何も変えない】と考えに固執することなく、【柔軟に対応】【変化を受け入れる】ことが必要であると痛感します。

さて、本校の漢字一文字に、【多】をあげた理由を先日全体保護者会で、校長より説明した内容と絡めて話をします。
(★新規の内容もございます)

①多山支(たき):次年度、緊急的増築棟(仮設校舎)建設工事实施に伴う課題

①スクールバスの登下校時の乗降と駐車の方法 ②放課後デイ送迎車両の駐車の方法と駐車場所の確保

③ ①②を考慮した授業時間の開始時刻について【新規】 多岐に渡って解決する必要があります。

【これらのことは来年の、1月末から2月初旬に臨時保護者会を開催します:1月初旬にお知らせします】

②多い:知的部門入学・転学の増加に伴う課題(今年度より最低4学級増加)

・肢体部門棟の教室を知的部門へ(今年度、肢体部門棟の2階のトイレを知的部門用に改修済)

③多発:救急搬送のケースが多かった(初めての発作・久しぶりの発作等)

・どのケースも学校の対応・判断に当該保護者も理解を示していただいているが、発作での救急搬送があった場合は、特にスクールバスの乗車については再確認をしている。

④多種多様

- ・昨年度同様、移動動物園の実施や企業によるコンサートの開催(3年に1回)及び虹輝祭での展示の変更・パラスポーツの体験(江戸川区総合体育館)等、様々な取組を多様な職種の方と共に行えた。
- ・江戸川区防災・防犯FESに参加し、様々な方々に「鹿本学園」を発信できた。

⑤多忙感の解消:「働き方改革」の一つで2月頃より始まります。【新規】

<特別支援学校の課題>

- ・スクールバスでの乗降確認(特に降車時)は添乗員・教員が指差し確認及び名簿チェックを医療的ケア専用通学車両も含めて行っている。
- ・下校時に「乗車なのか放課後等デイを利用なのか」が不明だったり間違いを起こしたりする。

<改善策:東京都教育委員会より>※詳細は後日通知や臨時保護者会

- ・御家庭のスマートフォン(利用していない方は後日連絡)に専用アプリを入れる。(予定)
- ・個々にタグを所持し、バスの乗降時にチェックシタブレットで一元管理する。
- ・本校の実情に合わせた仕様にし、バスのキャンセルや乗車予定を入れる。(予定)

今年度も多大な御理解及び御支援を賜わり、感謝いたします。次年度は本格的な工事となり多事多難となりますが、学校スタッフ一同「私達の子供達のために」誠実に取り組んでまいります。来年もよろしくお願いいたします。

鹿本学園校長 堀江 浩子

～虹輝祭をふりかえって～

11月21日（金）、22日（土）に虹輝祭を開催いたしました。2日間で650名の方に御来校いただき、大きな盛り上がりとなりました。第1体育館の舞台発表では、7つの団体が日頃の学習の成果を堂々と披露し、会場は温かな拍手に包まれました。

展示発表は、今年はS棟1階100メートル廊下での展示となりました。交流校も含め、個々の魅力が感じられる作品が並び、廊下を華やかに彩ってくれました。また、合同作品では、児童生徒一人一人が飾った葉っぱに、来校者の皆様がメッセージを書き添えてくださり、思いがつながる温かな作品になりました。御来校くださった皆様、御参観ありがとうございました。

虹輝祭担当 横山敦子

